



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第658号  
2024年12月16日

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 高すぎる東葉高速鉄道の通学定期代

高すぎる東葉高速鉄道の運賃値下げは八千代市民にとっての切実な要望です。その中でも定期代に関しては、会社から交通費が支給される通勤定期代にたいして、家庭で負担しなければならない通学定期代の割引率を上げることは喫緊の課題です。

東葉高速鉄道の通学定期代が高額であることは、2022年に通学定期代の大幅値下げを実施した北総鉄道と比較し、下表(表:通学定期代の比較)のように、1kmあたりの単価で約4.7倍、京成電鉄と比較しても約3.3倍であり、明らかです。

表：通学定期代の比較

鉄道会社	区間(距離)	期間	通学定期代	1km単価	
北総鉄道	印西牧の原～京成高砂(28.5km)	6か月定期	26,950円	945円	↓ 約4.7倍
東葉高速鉄道	東葉勝田台～西船橋(16.2km)	6か月定期	72,580円	4,480円	
京成電鉄	勝田台～京成西船(18.1km)	6か月定期	24,470円	1,352円	↑ 約3.3倍

※北総鉄道は2022年10月1日改定の運賃表、東葉高速鉄道は2019年10月1日改定の運賃表、京成電鉄は2024年3月16日改定の運賃表からの引用

## 大幅値下げを実施した北総線は通学定期の増加が続く

2022年に通学定期代を中心に大幅な値下げを実施した北総鉄道が公表した2024年度中間決算では、輸送人員が前年同期と比べて112万人、5.8%の増加となり、その中でも「通学定期の増加が続いている」、さらに「中間純利益も前年同期と比べて26.4%の増益」と報告しています。

## 東葉高速が通学定期代割引の影響を確認中!?

日本共産党では、毎年11月頃に開催され、2024年は12月18日に開催される予定の東葉高速自立支援委員会(以降、自立支援委員会)における決定内容について、「支援のあり方について協議を継続していく」という毎年同じ内容の確認にとどまっていることについて、「具体的な支援を明確にすべき」と指摘しています。

しかし、現在開会中の12月定例議会の中で、市は「自立支援委員会が通学定期割引率引き上げによる影響を確認中である」と回答しており、通学定期代の割引について前向きな検討が行われることが期待されています。

## 運賃値下げは利益の一部で実現可能

東葉高速鉄道は、2023年度決算において約33億円の純利益を計上しています。一方で通学定期の運輸収入は12億円未満です。利益の一部を投入することで通学定期代の値下げは可能です。

しかし、東葉高速鉄道が抱える2200億円を超える長期債務のほとんどが有利子負債であり、昨今の金利上昇の影響によって、支払い利息が増加することが東葉高速鉄道の経営上の大きな課題であり、運賃値下げの妨げになっています。

## 根本的な問題は国の責任で解決すべき

この問題は、国の審議会が計画された路線が、P線方式で建設され、約3000億円という多額の有利子負債を抱えて開業したことにあります。

日本共産党は、この問題を根底から解決するためにも、後から開通したつくばエクスプレスのように東葉高速鉄道が抱える有利子負債の無利子化を国の責任で解決するべきと求めています。